

言語活動の充実

～思考力・表現力・判断力を高める言語活動の工夫・改善～

平成27年4月 室蘭市教育研究所

各教科の言語活動の充実～何のため？～

学習指導要領の改訂により、市内各小・中学校において「言語活動の充実」に積極的に取り組まれているところですが、国語だけでなく、各教科で取り組む意義や日々の授業づくりで課題が明らかになってきていませんか。

現状の課題

そもそも「言語活動」って何？

先生方の「言語活動」のイメージがバラバラなのでは？

「言語活動」で何の力をつけていくの？

「言語活動」に取り組んでいるが評価があいまい？

言語活動はされているが、「何のために」が抜けてしまっている

○言語活動の背景にある理論に目を向けないまま、具体的な方法を求めてしまっている。

○言語活動でどんな力を付けさせたいか、という目的が明確になっていない。



言語を通した学習活動の充実が「思考力・判断力・表現力等」の育成に効果的であることから、各教科等において、言語活動の充実が重要。

思考力・判断力・表現力の育成

言語活動の充実

言語活動

各教科で行われる記録、要約、説明、論述など

言語活動を支える基盤(国語科の既習事項・各教科の用語や記号等)



実際はどうやって取り組んだらいいの？

① 言語活動を設定するステップ

☆ステップ1☆

○指導のねらい（学習目標）の確定

児童生徒の実態を踏まえ、その単元や一単位時間で指導するねらい（児童生徒に付けたい力）を確定する。

POINT～その単元等で指導する事項をしぼることが必要！

☆ステップ2☆

○言語活動の設定

言語活動のもつ特性や効果を意識しながら、ステップ1で確定した指導事項を身に付けさせるためにふさわしい言語活動を設定する。

POINT～○○（言語活動）を通して、□□（指導事項）を指導する！

指導事項と言語活動は密接に関連し合っているので、指導事項（目的）を達成するためにはどのような言語活動（手段）が適切かをよく考えて設定しましょう。

しかし、**言語活動をすること自体が目的にならないように**気を付けましょう。

② 板書計画とノート指導について

授業を行う際、欠かすことができないのが板書です。しっかり計画することで、学習内容を子ども達の視覚に訴え、客観的にとらえられるように提示することができます。その際のチェックポイントは、以下の2つです。

チェック1：板書を見ただけで、本時の学習の要点がわかるか

チェック2：授業の内容を思考の過程に沿って、構造的に整理しているか

また、子ども達の学ぶ意欲や思考を高めるためには、ノート指導を工夫することも大切です。よいノートであれば、復習や予習にも効果的であるし、友達の意見や考え方を記録することで自分の考えをさらに広げたり、深めたりできます。

そのためには、ノートの書き方についての約束事を確認し、子どものやる気を引き出すようなノート点検や評価の工夫が大切です。

ノート指導における配慮事項

- 教師は子どもがノートに書く時間を保証することが大切。
- ノートに書くことに集中させるため、書いている途中で発問や指示をしない。
- ノートづくりを効果的に進めるため、教師は板書の構成を工夫する。

実践例は次頁にあります！⇒



実践例1 小学5年 算教科 「分数」

- ①本時の目標
- ・異分母分数のたし算の意味を理解し、計算できる
 - ・通分を用いて計算方法を考えることができる。

②本時の展開

過程	○主な ・予	な働きかけ
つかむ	○本時 シ る	を提示する。 す。合わせ
見通す	○立式し、既習事項の意味をつかむ。 ○課題を書く。	◇既習の問題と比べさせる。
追求する	課 分母がちがう分数のたし算の仕方を考えよう。 ○課題についての見通しをもつ。	◇今まで学習した内容を振り返る。
まとめ	○自分の考えたことを全体に説明する。 ○まとめをノートに書く。 ○練習問題に取り組む。 ○自己評価	◇出てきた考え方の共通点や相違点を考えるよう促す ◇分母が違う分数のたし算は、通分して同じ分母の分数になおすと計算できる

ステップ1

指導のねらい（学習目標）の確定

本時の課題を明確にし、自力解決のための見通しをもたせる。

- ・既習事項をもとに、計算の仕方について自分の考えをノートにまとめる。
- ・ペアで交流することで、相手に分かりやすく伝えたり、お互いの考えを交流して新たな計算の仕方に気付いたりできるようにする。

ステップ2 言語活動の設定

様々な考え方を全体で確認することで、ペアでは気付かなかった方法についても目を向けさせる。

ノート指導 ●ノートづくりを効果的に進めるため、
教師は板書の構成を工夫する。

③板書計画

10/23

p. 106

問題

ジュースが $\frac{1}{2}$ Lと $\frac{1}{3}$ L入っています。合わせると何Lになりますか？

式 $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

課

分母がちがう分数のたし算の仕方を考えよう。

ア：面積図を使って



どちらも1を同じ大きさにしようとすると、6等分する必要がある。

$$\text{だから、}\frac{1}{2} + \frac{1}{3} \text{は}$$

$$\frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}$$

イ：数直線を使って

数直線を用いる。
 $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{3}$ の等しい分数は、 $\frac{3}{6}$ と $\frac{2}{6}$ 。
だから、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}$



ウ：通分の考えで

$$\frac{1}{2} \rightarrow \times 3 \rightarrow \frac{3}{6} \quad \frac{1}{3} \rightarrow \times 2 \rightarrow \frac{2}{6}$$

それぞれを通分して分母をそろえることで分母が同じ計算の仕方と同じように計算できる。

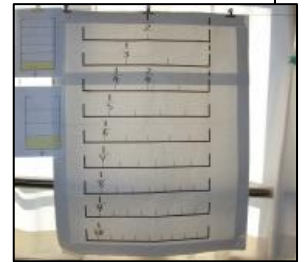
$$\text{だから} \quad \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}$$

ま 分母がちがう分数のたし算は、通分して同じ分母の分数にすると計算できる。

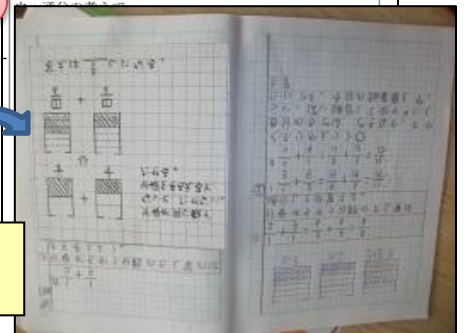
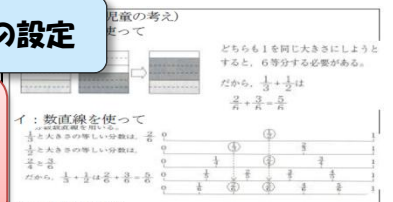
練習問題

チェック1：板書を見ただけで、本時の学習の要点がわかる

チェック2：授業の内容を思考の過程に沿って、構造的に整理する



既習事項を使って、異分母分数のたし算の仕方を表している。【考】ノート、ワークシート、発言カード、自力解決が難しい児童用ヒント入りのワークシートを用意しておく。





実践例2 中学1年 社会科 「北アメリカ州 -さかんな農業や工業の特色-

- ①本時の目標
- ・アメリカの生活・文化が、世界の国々に与えている影響について関心をもつ。
 - ・北アメリカの、特にアメリカ合衆国の産業と移民との関わりを考察し発表する。

②本時の展開

過程	主な学習活動 *言語活動 ・予想される児童の発言	評価規準□評価方法 を要する判断される児童への手立て
導入	○アメリカには多様な人種が生活している事に気付く。 (予想) アメリカにはたくさん魅力があるのではないかな。 ○自分の生活体験からノートに書き込む。 ・マクナルド・ディズニー・野球・アメフト など	評価規準□評価方法 を要する判断される児童への手立て
追求する	○板書されたものを書き込む。 ○「ヒスパニック」についてノートにまとめる。 ○彼らがなぜアメリカにやってきたのか発表する。 ○グラフ1から、ヒスパニックが多く関わっている職業を読み取り、ワークシートに書き込む。 ○ヒスパニックが、主に肉体系労働系の職業に従事していることに気付く。 ○グラフ2から、アメリカの総人口におけるヒスパニックの大きな人口を読み取る。 ○人口数に対して肉体系労働系の職業に従事している割合が高いことに気付く。 *自分の予想を、ワークシートに書き込む。 *ペアになり意見を交流する。 *全体で意見交流をする。 *他の意見をワークシートに書き込む。 ○様々な理由からヒスパニックが賃金の高い職に就けないことに気付く。 ○ヒスパニックについての理解を深める。	本時の課題を明確にし、ヒスパニックとアメリカ文化・生活の関わりについて考える方向付けをする。 課題 アメリカの文化・生活について考えよう。 ◇「ヒスパニック」の存在に気付かせ、語句を板書する。 ◇メキシコや西インド諸島の写真を提示する。 資料から適当な情報を読み取り、考えをワークシートにまとめ、他者の意見も踏まえてメタ認知する。 ステップ2 言語活動の設定 自分の考えを書いたワークシートをもとに、ペアで交流し、新たな発見や自分の意見を改めて見つめ直せるようにする。 ◇発表の内容をまとめる。 ◇教科書の「地図にアクセス」を読ませ、ヒスパニックについての理解を深めさせる。
まとめ	(まとめ) アメリカの文化・生活は、移民と深い関わりをもっている。 ヒスパニックは労働などの面で問題を抱えている。 ○まとめをノートに書き込む。 ○教科書の本文を読み、本時の内容を振り返る。	自分の考えだけでなく他者の意見も板書しながらまとめ、ノートに書く。それによりさらに考えを広げたり深めたりできる。

③板書計画

P80~ 課題：アメリカの文化・生活について考えよう	
【身近な「アメリカ」とは？】	
文化	
生活	
○ヒスパニック →スペイン語を話すメキシコや西インド諸島などからやってきた移民のこと	
	生徒の発表を板書していく
	ヒスパニックは様々な理由から、賃金の高い職業に就くことが難しいと考えられる。
	まとめ ○アメリカの文化・生活は、移民（特にヒスパニック）と深い関わりをもっている。 ○ヒスパニックは労働などの面で問題を抱えている。

チェック1：板書を見ただけで、本時の学習の要点がわかる

チェック2：授業の内容を思考の過程に沿って、構造的に整理する